

授業科目名	消費者論	科目コード	G1102L02
英文名	Consumerism		

科目区分	学部共通科目 - 基礎科目		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>21世紀初頭には、消費者基本法の制定、消費者団体訴訟制度の実現、消費者庁の設置など消費者を取り巻く制度的な環境整備が進んだ。しかし、これらの整備が進んでいても、消費者に提供される商品には偽装表示、遺伝子組み換え食品やゲノム編集、振り込め詐欺、エネルギー問題等々、消費者を取り巻く環境はさまざまな課題に直面している。これらに対して、生活者として適切な判断力、意思決定ができることがこれからの社会では重要である。この講義では、消費者を取り巻く環境について様々な観点から学び、自立した消費者として行動できる基本的な態度を身に付ける。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	消費者基本法	消費者行動	消費者問題	消費者とSDGs
-------	--------	-------	-------	----------

到達目標	消費者問題に関する法律を理解する。
	消費者問題の歴史を知り、現在の消費者問題を理解する。
	消費者被害に遭わないための対策を立案する。

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業の内容と計画、課題、評価方法など) 消費者論とは何を指すのか。環境分野との関係	
	【予習】	
	【復習】消費者と環境の関わりについて考える	
第2回	消費者大会に参加し、学部講師の講演や県内で消費者教育・啓蒙活動の発表を聞くことで、消費者環境について理解する	
	【予習】	
	【復習】講演内容についてまとめる(提出)	
第3回	消費者の権利と保護について	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	最近の消費者を取り巻く環境 - 消費者問題について (食環境)	
	【予習】食品に関連する環境上の問題について調べる	
	【復習】時代区分と食環境問題を整理する	
第5回	最近の消費者を取り巻く環境 - 消費者問題について (衣・住環境)	
	【予習】衣生活や住宅に関連する環境上の問題について調べる	
	【復習】最近の衣生活・住生活での環境問題をまとめる	
第6回	最近の消費者を取り巻く課題 (金融と暮らし)	
	【予習】	
	【復習】消費者問題は今日どのように変遷したかについて整理する	
第7回	消費者問題・消費者運動の歴史(海外)	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	消費者関連法規 消費者六法について概要を説明する	
	【予習】消費者六法とは何を指すか	
	【復習】消費者関連の法律が制定された経緯についてまとめる	

第9回	消費者の環境情報の活用（環境マーク）国際比較 環境と消費者情報	
	【予習】環境に関連する消費者向けマークを調査（5種類）	
	【復習】	
第10回	消費者問題解決のための機関 消費生活センターの見学研修（外部研修） 富山県における消費者の問題や問い合わせについて現状を知る。（場合によっては変更する可能性がある。）	
	【予習】富山県消費生活センターの概要を調べる	
	【復習】研修報告をまとめる	
第11回	消費者調査について 調査の意義、手法	
	【予習】	
	【復習】調査のためのテーマについて考える	
第12回	消費者調査の実施 アンケート作成について、消費者調査について	
	【予習】アンケートのテーマについて事前調査	
	【復習】グループごとに消費者対象のアンケート作成	
第13回	消費者調査の実施 調査結果の集計方法とグループでの集計作業	
	【予習】アンケート実施	
	【復習】集計作業と報告書の作成	
第14回	アンケート実施報告会（グループ）	
	【予習】発表準備	
	【復習】報告書作成(提出)	
第15回	消費者からみた環境倫理・消費者とSDGs（企業倫理CSRと消費者態度）	
	【予習】前期に学んだ、企業・環境倫理についてみておく	
	【復習】消費者としての態度・あり方について考える(課題)	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業及び課題（50％）試験またはレポート（50％）で総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	講義時にプリント配布	使用資料 <参考図書>	消費者六法
授業外学修等	事前の準備（予習）及び事後は授業時に出した課題を作成すること。消費者調査票の作成、調査の実施など時間外に行う		
授業外質問方法	授業時間開始・終了前後に受けるか、obata@tuins.ac.jpへのメールによる質問も可能		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限、438研究室		